

第1回ほたるの里 夏のSNOWマラニック

マラソンとピクニックを組み合わせたスポーツイベント「第1回ほたるの里夏のSNOWマラニック」を7月30日（土）開催しました。

コースは10kmと28.5kmの2コースで、町内外から約130名のランナーとゲストランナーとして元スピードスケート選手の郷里砂さんと鈴木靖さんが参加されました。ランナーは沼田町の田園風景を楽しみながら、10カ所設置された休憩所で「雪中米のおにぎり」や「そば」、「幻の沼田黒毛和牛まん」など沼田町の特産品を楽しみ、ゴールに設置された雪柱と雪氷桜で、ゴール後の疲れた体を癒しました。

旭川から参加した40代女性は「どの休憩所の食べ物も美味しくてお腹一杯です。景色も素晴らしくて最高でした」と大満足の表情を浮かべていました。



北海道オール・オリンピアンズと包括連携協定を結びました



北海道にゆかりのあるオリンピック・パラリンピックの出場経験者が活動する北海道オール・オリンピアンズ（橋本聖子代表）と7月29日（金）包括連携協定を結びました。

今回の協定では、町民の健康づくりや、地域の活性化などを目的に連携することとしており、調印式には鈴木靖ゼネラルマネージャー（GM）と2018年平昌と22年北京オリンピックスピードスケートに出場し、北京では旗手も務めた郷里砂さんが出席されました。

鈴木GMは、「スポーツの力で、沼田町を元気にして、町民が健康でいられるように協力していきたい」と挨拶され、横山町長は、「提携の実現に感謝しています。今年は高穂スキー場も一新するので、新たなアスリート育成などで力を貸してください。」と述べました。